

# 潜入!! 工事現場

## 途ちゅアフター

### 第11回 >>> プラネタリウム投映機のオーバーホール



トチュー調査員

まだまだ寒い日が続きますが、少しずつ春めいてきましたね。今回は、柏に古くからある貴重なものを修理する様子を見てきたよ



アットホームな雰囲気のだーム内

図書館本館の2階には、直径6メートルほどの小さなドーム「柏プラネタリウム」があります。昭和51(1976)年の開館以来多くのプログラムを放映してきました。1975年製の投映機が現役で活躍する例は全国でも珍しいようで、たくさんのボタンやつまみをスタッフが操作して投映する、温かみのある味わい深さが特徴です。これまでメンテナンスを繰り返しながら大事に使ってきましたが、初めてオーバーホール(大型修繕)を行うことになりました。費用面では多くのかたのご協力をいただき、昨年行ったクラウドファンディングで早々に目標額を達成することができました。



フォルムが美しくステキ～

投映機は世界的に有名なプラネタリウムメーカー「五藤光学研究所」のかたの手により慎重に分解されていきました。まず投映機の上部和下部にある部品(惑星棚)を取り外したあと、サッカーボールのような2つの恒星球に内蔵された30個のレンズを一つ一つ外します。外したレンズをのぞかせてもらうと小さな星空が! それぞれのレンズに組み込まれた星空の断片が合わさって、一面の夜空を映し出しているんですね。

調子の悪いところはないか隅々まで調べて、部品交換や調整を行い長く使用できるようにする作業は、私たちがいうところの人間ドックに近いかもしれません。

## トチュー調査員の もっと知りたい!

### Q1 オーバーホール(大型修繕)とは?

A 通常のメンテナンスと違い、投映機の部品をそれぞれ分解して作業を行い新品に近い状態まで回復させるものです。今回一番改善が期待されるのは「月」で、48年前と同様の鮮明な映像になる予定です

### Q2 どうしたら見られるの?

A 観覧は無料ですが、投映日のおよそ1週間前から配布する電子チケットか、当日午前9時30分から図書館本館で配布する整理券が必要です。投映日は不定期なので、詳しくは本誌12ページか図書館のホームページをご覧ください



図書館ホームページ



キレイ! 長年使用してきたレンズとは思えない!



すでにオーバーホールも終了し、3月からの投映再開に向けて準備を行っています。ぜひ星空が織りなす30分間の癒やしのひと時を過ごしてみたいはいかがでしょうか。ご協力いただいた図書館、五藤光学研究所の皆さんありがとうございました!